

施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。
- 本製品は木造住宅の2階以下に取付ける設計となっております。3階以上の高所には取り付けしないでください。但し、出幅3尺タイプのみ3階への取付可能です。
- それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。一般地域用600形→積雪20cm以下 特殊地域用1500形→積雪50cm以下 特殊地域用3000形→積雪1m以下
- 柱の移動は、当社指定範囲内に行ってください。
- 他社商品（バルコニー等）と組み合わせて設置しないでください。
- 風の強い場所では補強プレスを製品の補強をしてください。
- 崖っぴなどの高低差のある場所には設置しないでください。
- 風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。

■躯体への固定

- 躯体に取付けずに独立で取り付けることは絶対にしないでください。
- ブラケットを使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
- タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締め付けてください。

■施工時の足場について

施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

■基礎について

- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 基礎には海砂及び急結材を使わないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- 施工前に調査を行い、地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようにしてください。
- 寒冷地で凍上のおそれのある地域に取付ける場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 柱には水抜き穴をあけてください。柱間の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重たいものをのせたり振動させたりしないようご注意ください。

■絶縁処理について

アルミ材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

■パネルについて

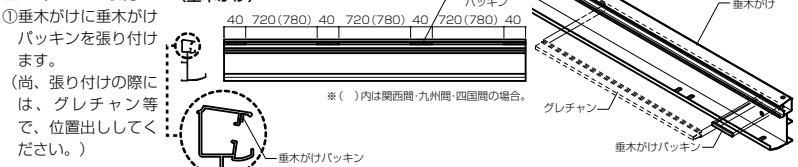
屋根パネルは当社指定の製品をご使用ください。

■施工上について

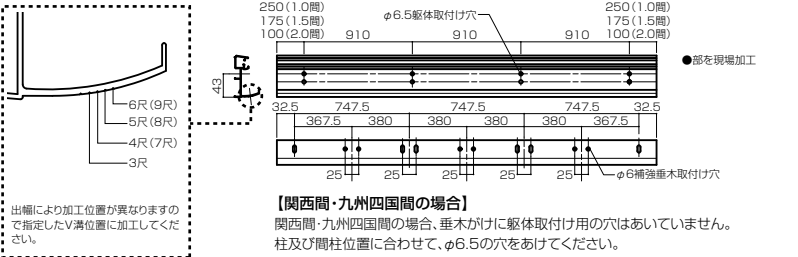
- 母屋の構造材が入っている場所へ取付けてください。
- おがりに改造・変更をしないでください。
- 水平垂面は正確に測ってください。直角が出ていないと施工に支障があるおそれがあります。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- 取付けは専門業者が行なってください。
- ※漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- シーリング指定箇所には、必ずシーリング材を充て込んでください。

取付け順序

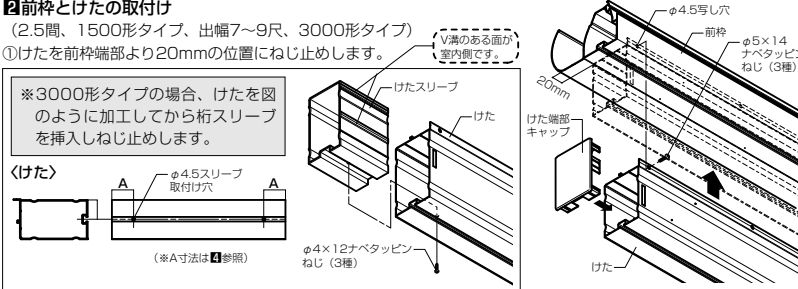
1 垂木がけの取付け



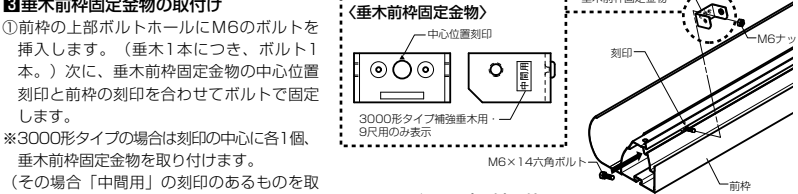
- 垂木がけに垂木がけバックを張り付けます。(尚、張り付けの際には、グレチャン等で、位置出ししてください。)
- 垂木がけを躯体に取り付ける際は、必ず水準器で水平を出してください。 ※垂木がけは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。 ※躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施工主様と十分打ち合わせを行い必要に応じた補修をしてから取り付けてください。 ※3000形タイプの場合、取り付けねじを上・下2箇所固定してください。 ※3000形タイプの場合、垂木がけを下図のように加工してください。



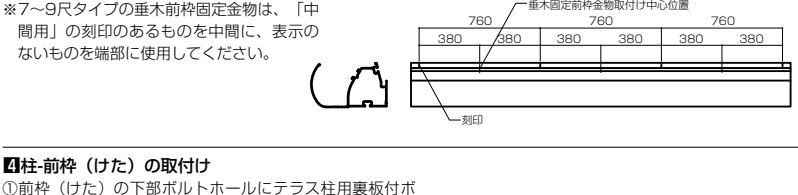
2 前枠とけたの取付け



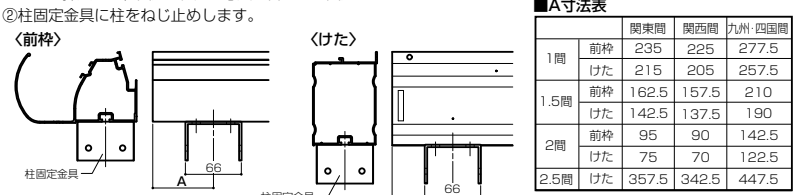
3 垂木前枠固定金物の取付け



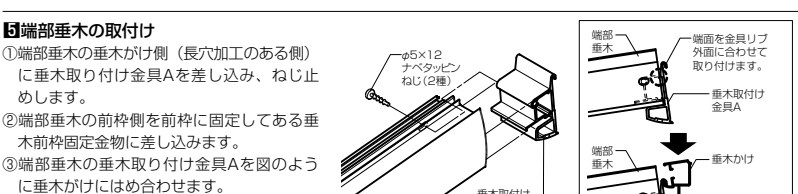
4 柱・前枠(けた)の取付け



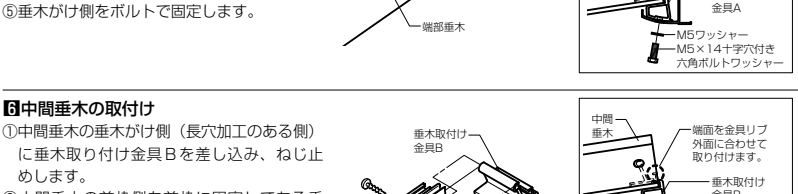
5 端部垂木の取付け



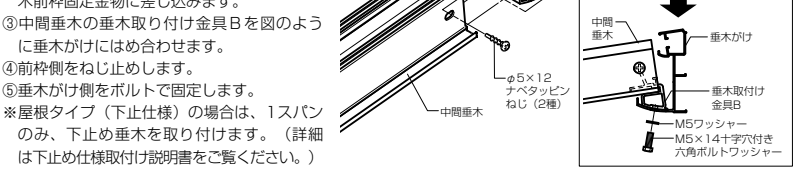
6 中間垂木の取付け



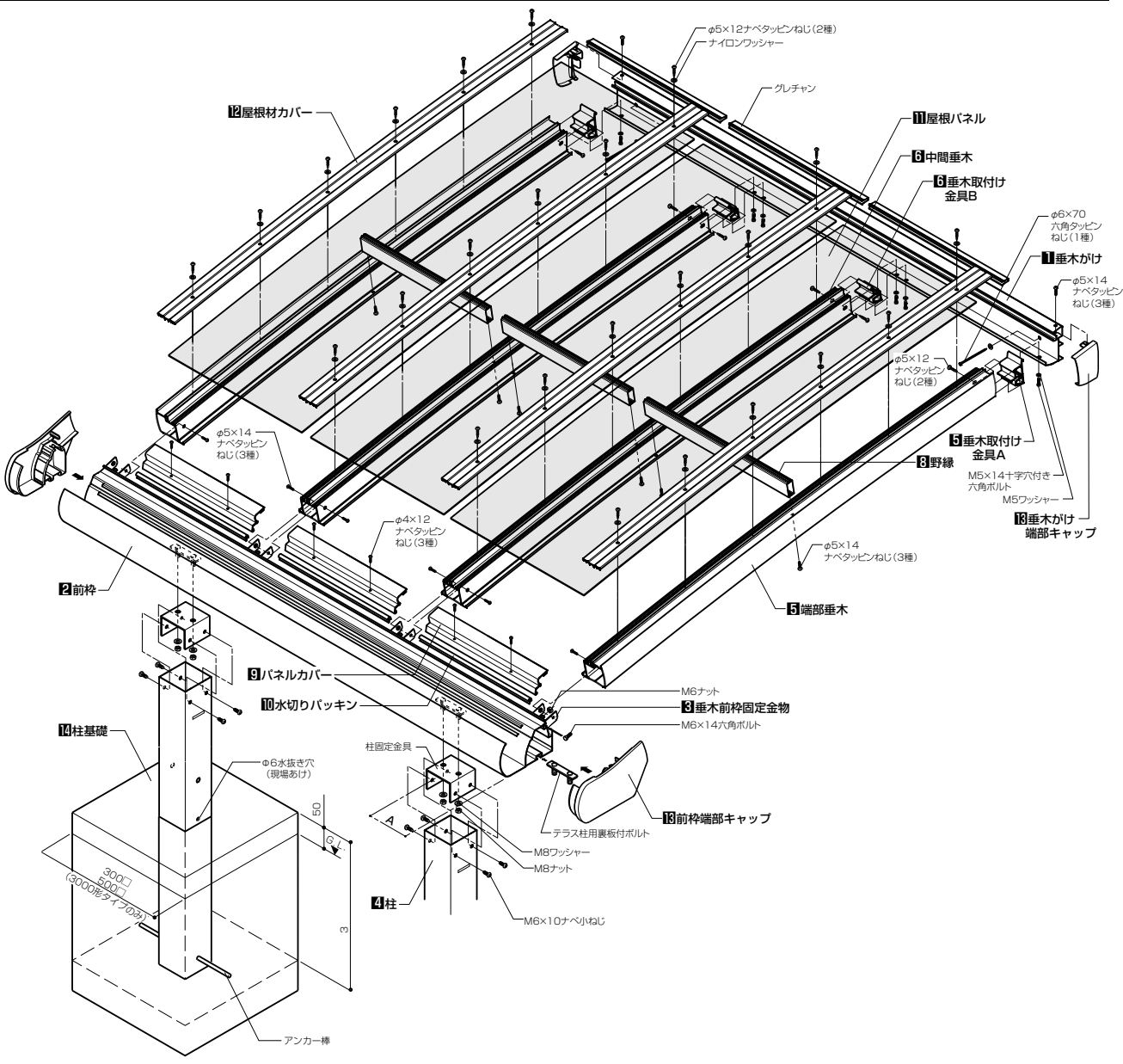
7 補強垂木の取付け (3000形タイプのみ)



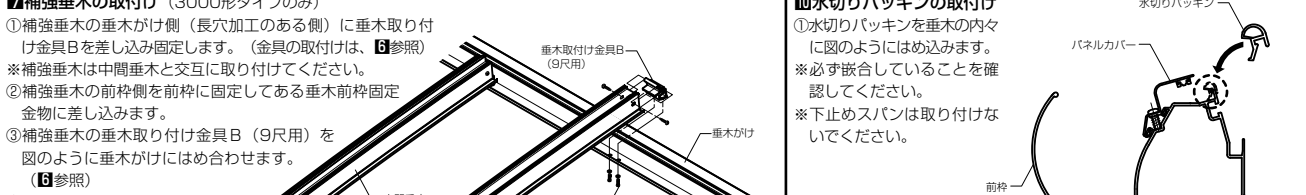
8 野縁の取付け



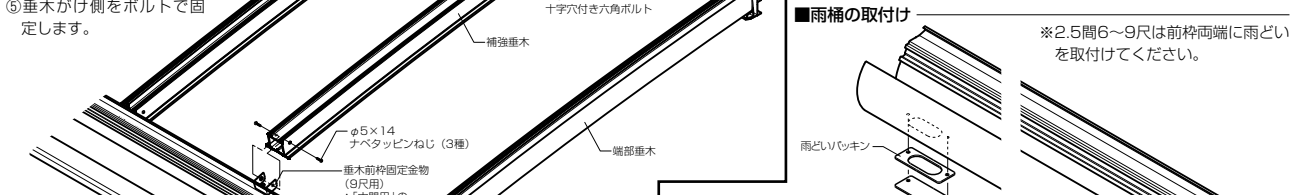
9 パネルカバーの取付け



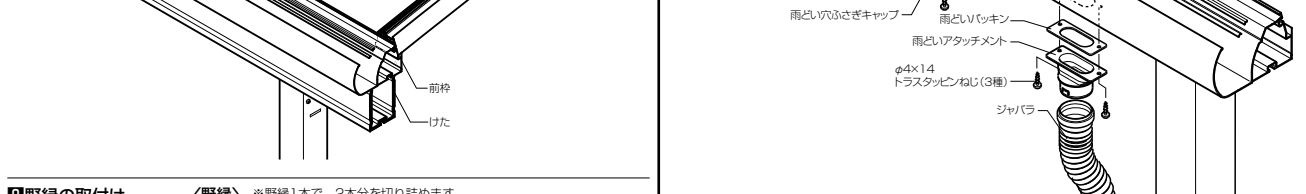
10 水切りパッキンの取付け



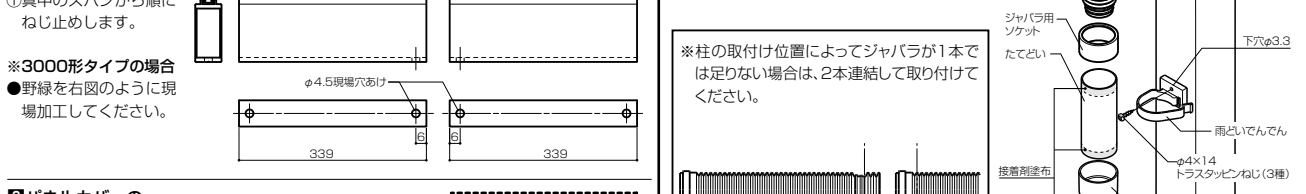
11 雨樋の取付け



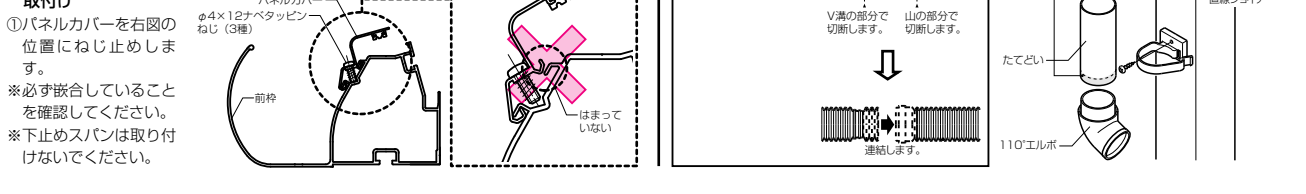
12 柱の取付け位置



13 野縁の取付け



14 パネルカバーの取付け

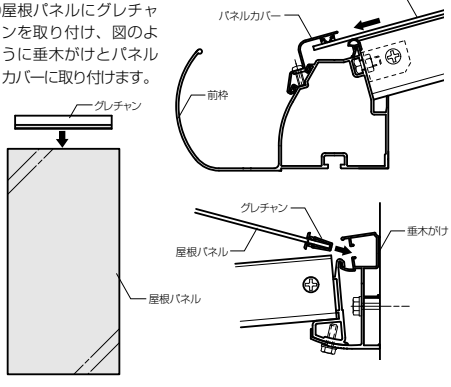


15 雨どいの取付け



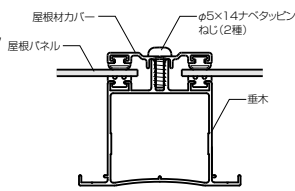
■屋根パネルの取付け

①屋根パネルにグレチャンを取り付け、図のように垂木がけとパネルカバーに取り付けます。



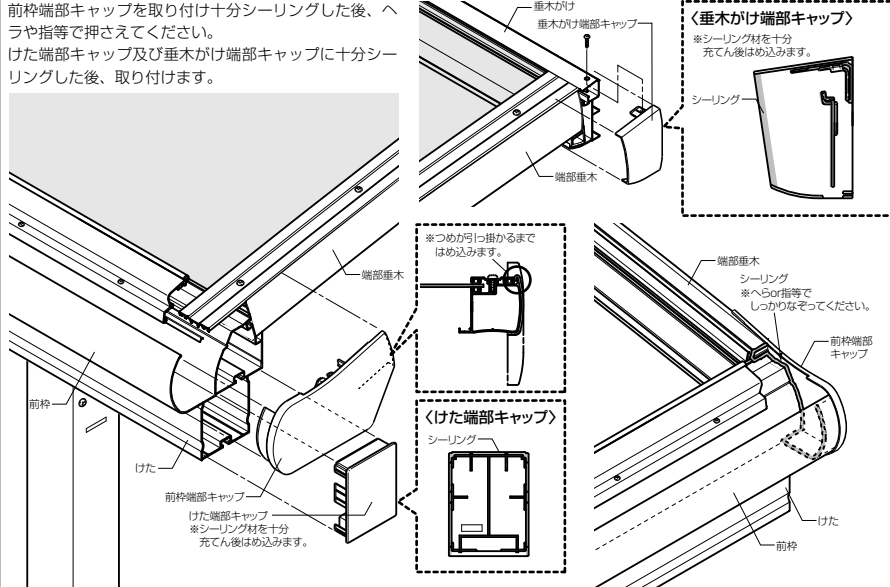
■屋根カバーの取付け

①垂木との位置を確認してねじ止めします。

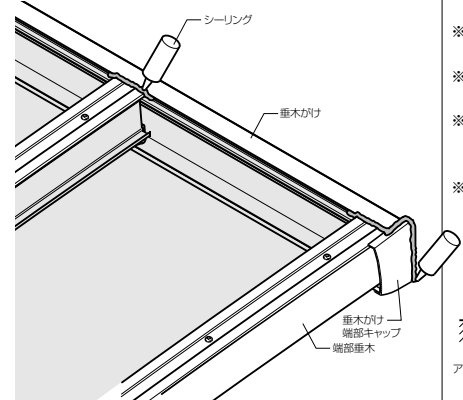


■キャップの取付けとシーリング処理

前枠端部キャップを取り付け十分シーリングした後、ヘラや指等で押さえてください。けた端部キャップ及び垂木がけ端部キャップに十分シーリングした後、取り付けます。



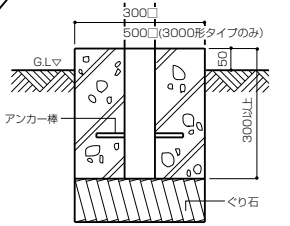
②下図の箇所をきれいにシーリングしてください。



※シリコン系シーリング材を使用した場合、アクリル板のヒビ割れなどが考えられますので、当社指定のシーリング材又はプライマーを使用してください。(東芝#380・#381・東SE555) なお、東芝#381・東SE555はプライマー不要です。

■柱基礎

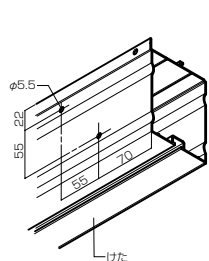
①柱埋め込み穴をコンクリート(又はモルタル)で埋めてください。
 ※地下埋設物(給水管など)に影響を及ぼさないようご注意ください。
 ※コンクリート(又はモルタル)に急結材は絶対に使用しないでください。
 ※海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
 ※必ず水抜き穴をあけてください。



■連結タイプの場合

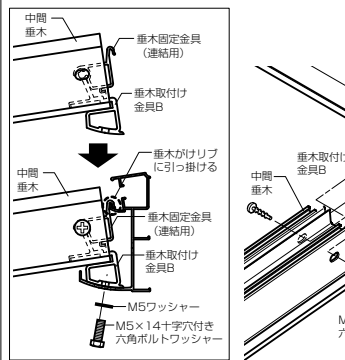
■前枠・垂木がけ・けたの加工

①前枠：垂木がけの連結側を20mm切り詰めます。
 ②前枠の連結側のポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。
 ③けたの連結側のポンチ位置にφ5.5の穴をあけます。



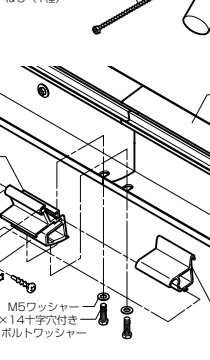
■垂木がけの取付け

①垂木がけの全体取付け穴(φ6.5)を、柱や間柱など躯体の構造位置に合わせてあけ直した後、取り付けてください。
 ②連結部は必ずシーリングで処理してください。
 ※1連結部に取り付けて、中間垂木は、垂木固定金具B(連結用)に垂木固定金具(連結用)を差し込んだ後、ねじ止めします。
 ※2垂木がけに固定の際は、垂木固定金具(連結用)を垂木がけリブに引っ掛け取り付けます。



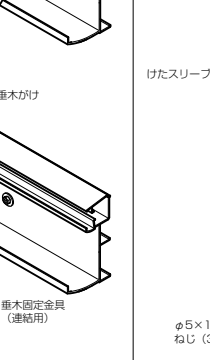
■前枠・けたの取付け

①前枠を前枠スリーブにねじ止めします。
 ②前枠ジョイントカバーをねじ止めします。
 ※連結部には垂木と柱が取り付けます。
 ※連結の際、柱は連結部への取付けを基本としますが、やむを得ない場合は、移動しても差し支えありません。
 ③けたの下図の位置に穴あけ加工後、ねじ止めします。



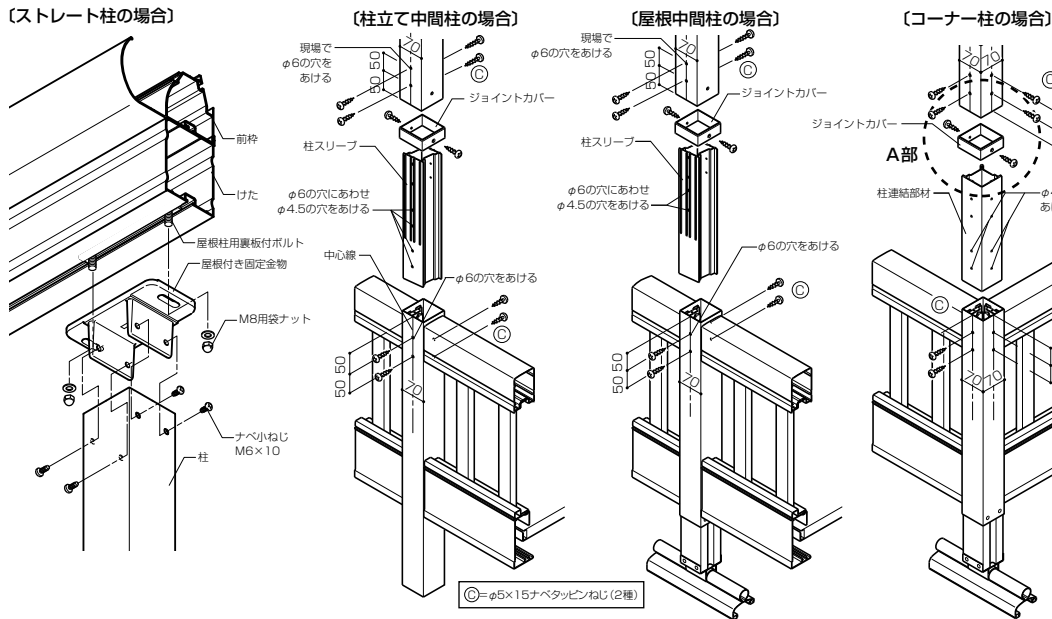
■シーリング箇所

※連結部には必ずシーリングで処理してください。



■バルコニー連結の場合

①柱の切詰め加工
 ●現場実測で寸法を出し、柱を切詰めてください。
 ②前枠への取付け
 ●屋根柱固定金物を使用し、図の要領で取り付けてください。
 ③バルコニーとの連結図の要領に従い、柱を連結してください。
 (ストレート柱の場合)



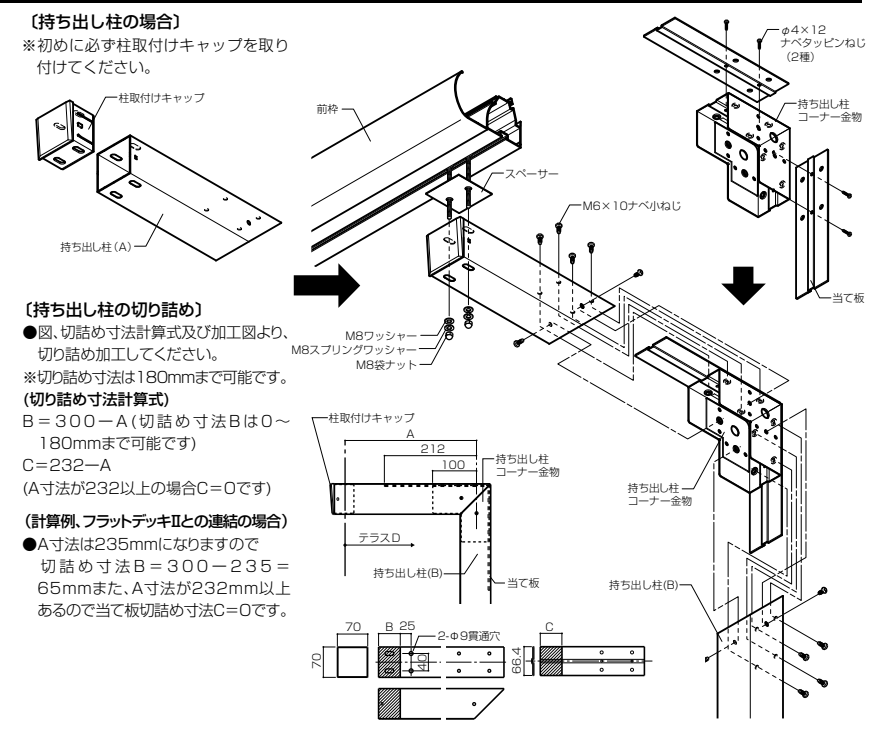
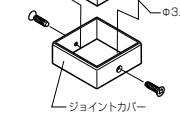
■持ち出し柱の場合

※初めに必ず柱取付けキャップを取り付けてください。



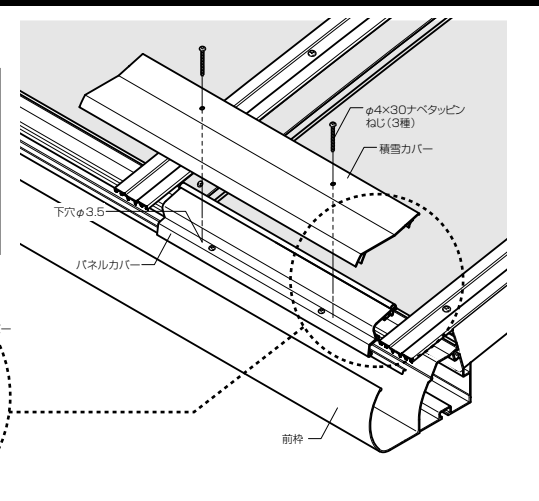
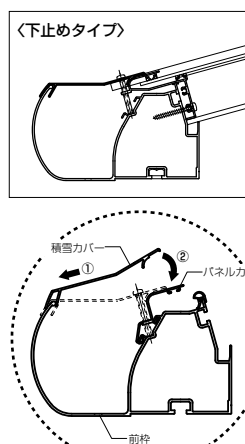
■持ち出し柱の切り詰め

●図、切詰め寸法計算式及び加工図より、切り詰め加工してください。
 ※切り詰め寸法は180mmまで可能です。
 (切り詰め寸法計算式)
 $B = 300 - A$ (切り詰め寸法Bは0~180mmまで可能です)
 $C = 232 - A$
 (A寸法が232以上の場合C=0です)
 (計算例、フラットデッキIIとの連結の場合)
 ●A寸法は235mmになりますので、切り詰め寸法B = 300 - 235 = 65mmまた、A寸法が232mm以上あるので当て板切り詰め寸法C=0です。

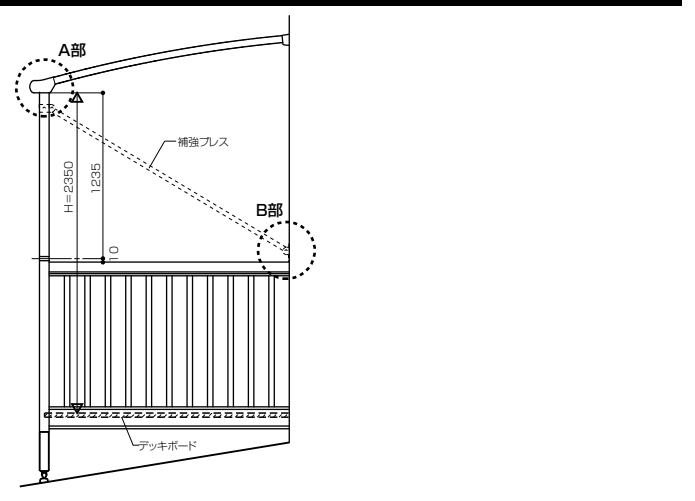
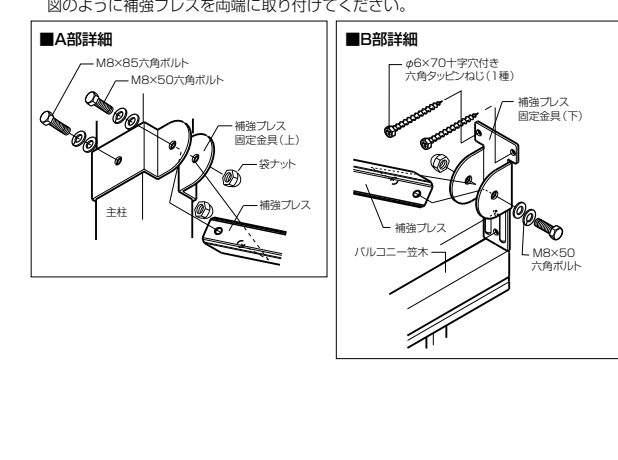


■積雪カバーの取付け

●パネルカバーに下穴φ3.5を開き、積雪カバーを取り付けます。



●屋根置き式バルコニーに屋根を取り付ける場合、風による吹き上げのある現場では図のように補強プレスを両端に取り付けてください。



レーネテラスⅡ

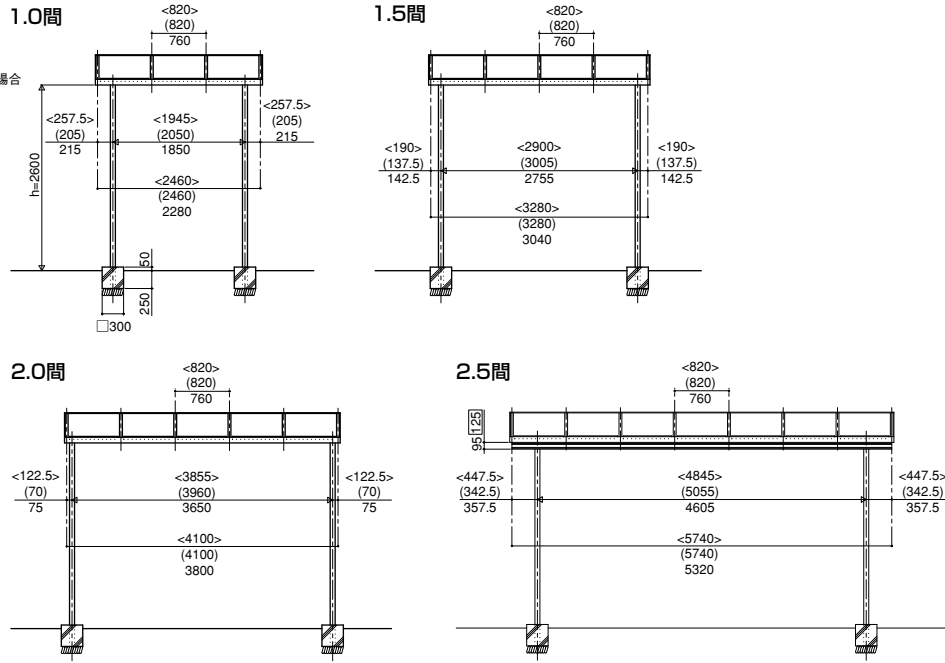
姿図・参考納まり図

■姿図

600形

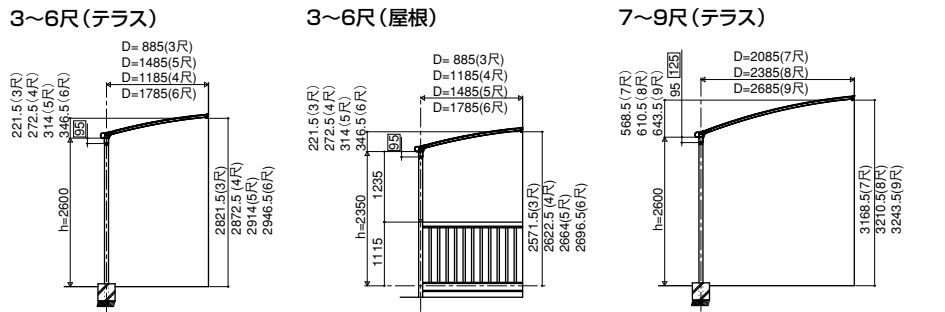
●正面図

※()内は関西間
※< >内は九州・四国間
※□は出幅7~9尺の場合



●側面図

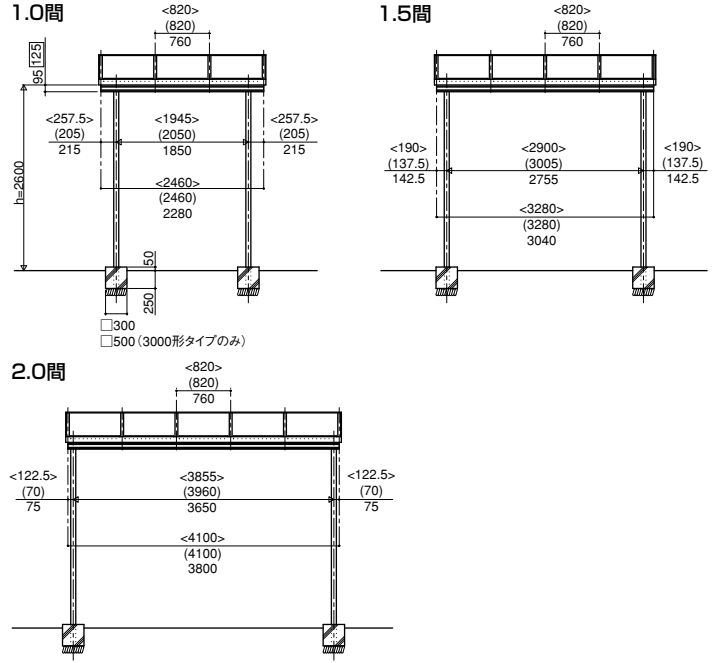
※□は開口2.5間
通しの場合



1500・3000形

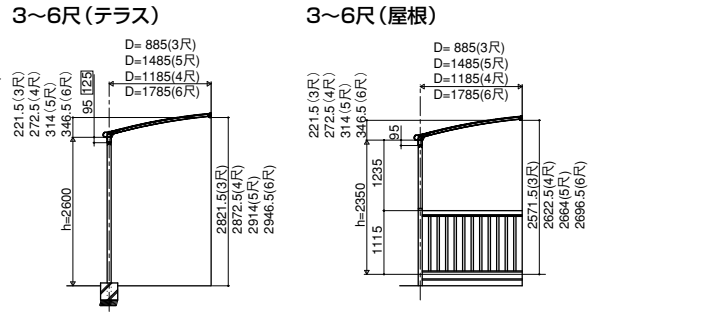
●正面図

※()内は関西間
※< >内は九州・四国間
※□は3000形の場合
※3000形は、関東間のみ



●側面図

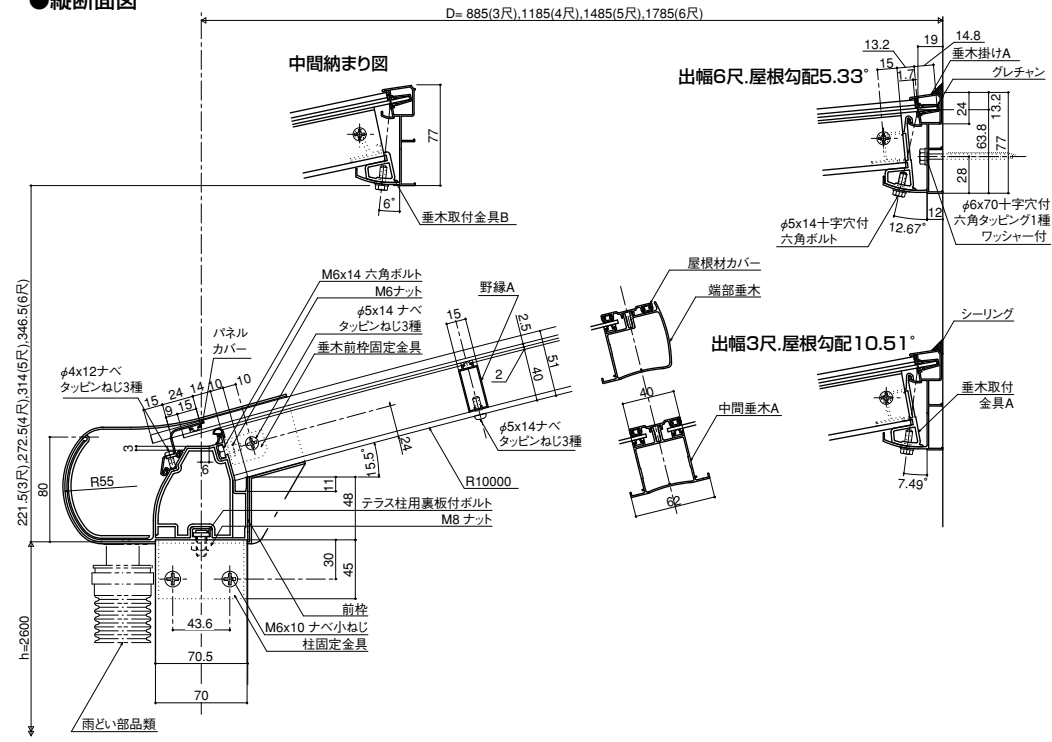
※□は3000形の場合
※屋根は1500形のみ
※3000形は、関東間のみ



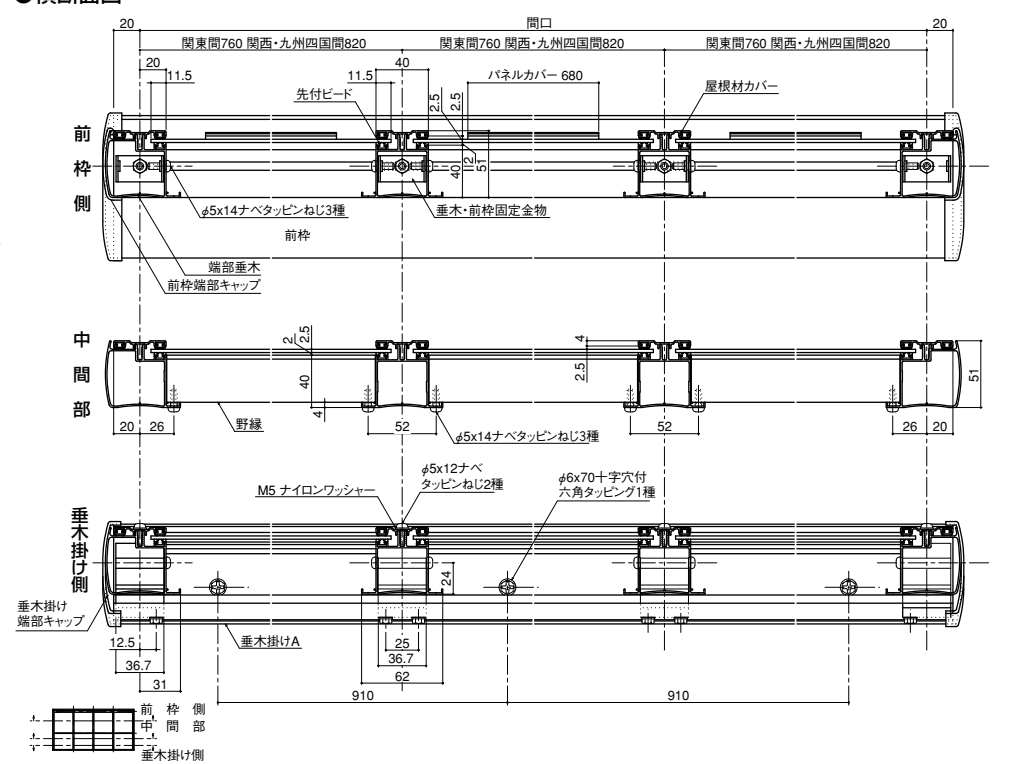
■参考納まり図

600形

●縦断面図



●横断面図



1500・3000形

●縦断面図

